2021 (令和3)年度東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

言語研修生募集要項

ILCAA Intensive Language Courses 2021

言語研修について

この研修はアジア・アフリカ言語文化研究所が研究者養成事業の一つとして開催しているもので、アジア・アフリカ地域での現地調査・研究や専門的業務に役立つ現地語の習得を目的としています。日本の専門研究者と母語話者が講師を務めます。

大学在学生、大学卒業者または上記の目的に必要な学力及び動機をお持ちの方であれば、ご応募いただけます。

募集言語について

ムンダ語、ベトナム語

各言語の研修期間、研修時間など、研修内容についての詳細は、それぞれのページをご覧ください。

募集定員について

各言語 約10名 (当研究所で書類審査により選考します。)

募集期間について

ベトナム語のみ、7月6日(火)まで 延長します!

※定員に達した場合は期日以前に募集を終了します。

募集期間:2021年6月1日(火)~2021年6月22日(火) 受付時間 午前9時30分~午後5時 (正午~午後1時を除く)

持込みの場合、土・日を除きます。

郵送の場合は、6月22日(火)必着です。

Eメールの場合は、6月22日(火)日本時間午後5時必着です。

[主催/企画] 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 http://www.aa.tufs.ac.jp/ [協力] 大阪大学大学院言語文化研究科 http://www.lang.osaka-u.ac.jp/

応募方法について

所定の受講申込書に必要事項をご記入の上、在学証明書又は最終学校の卒業証明書(写)を 添えて、お申し込み下さい。

- ※申し込み方法は、直接持ち込み、郵送、Eメールのいずれかとします。
- ※申込書に記入いただくEメールアドレスは、選考結果通知PDFをお送りしますので、
- ilcaa-ilc@tufs.ac.jp からPDFファイルが受信できるアドレスをご記載ください。
- ※郵送の場合は、封筒の表に「言語研修○○語申し込み」と朱書き願います。

受講申込書送付先および各種問い合わせ先について

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所2階206室

研究協力課共同研究拠点係

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

TEL 042-330-5603, FAX 042-330-5610

Email ilcaa-ilc@tufs.ac.jp

選考結果について

受講の可否は、一次募集応募分については、7月下旬に本人あてにEメールにて通知します。

受講手続きについて

受講を許可された方は、所定の期日までに、研修言語ごとに定められた額の受講料を一括納付して下さい。

受講料等は各言語ごとに異なりますので、それぞれのページをご覧ください。

受講料振込先情報および振込期日は、選考結果通知に記載してあります。

口座振込に係る手数料はご負担ください。

授業の実施方法について

十分な感染防止対策を取った上で原則として対面で行います。

コロナウィルス感染拡大の状況によってはオンライン授業に切り替える場合があります。

(判断は原則として研修の1週間前までに行いますが、急激な感染状況の変化が生じた場合はその限りではありません。)

研修中は機械換気による常時換気を行うとともに必要に応じて窓開けを行います。

また通常の研修と異なり受講生の皆様には以下の事柄をお願いすることになります。ご承知おき ください。

- 研修中は原則として常にマスクをしていただきます。
- ・講師と受講生は十分な距離を取って研修を行うことになります。そのため、発音練習・会話練習などでは必要に応じて卓上マイクをご利用いただきます。
- ・休憩時間・食事時間は講師・各受講生の間に十分な距離を取ってお過ごしいただきます。食事中の会話はなさらないようお願いします。
- その他の感染防止対策についても随時講師の指示に従っていただきます。

修了要件と修了証書について

研修言語ごとに定められている授業時間数の3分の2以上出席し、かつ所定の成績を収めた受講者に修了証書を交付します。

文化講演について

研修期間中、文化講演として、担当講師以外の外部講師を招いた授業を取り入れています。 文化講演は一般向けに公開することがあります。

受講までの流れについて

受講申込



郵送、Eメール、直接お持込にてお申込みください。

確認メール送信



郵送またはEメールにてお申込みいただいた方には、受付確認メールをお送りいたします。

選考結果通知をメール送信

選考を通過された方には、受講料等振込先および、初日の集合時間等についても、あわせてご案内いたします。

受講料振込



通知書に記載された期日までに、受講料等をお振込みください。 振込手数料は自己負担となります。

受講料振込確認メール送信



期日までにお振込が確認できない方には、事務局から確認メール をお送りします。

研修に関する連絡をメールにてお知らせ



各言語ごとにメーリングリストを作成し、必要に応じて、研修に関するご連絡を差し上げます。

研修開始

受講上の注意について

- ■会場には駐車場はありません。受講時は公共交通機関をご利用ください。
- ■本研修の受講生は正規の学生ではありませんので、学割定期券の購入はできません。
- ■宿泊施設については、ご自身でご手配くださいますようお願いいたします。

研修会場について

東京会場[ムンダ語]

東京外国語大学アジア·アフリカ言語文化研究所 〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1 TEL 042-330-5603, FAX 042-330-5610

AA研へのアクセス



- ■JR中央線「武蔵境駅」から西武多摩川線に乗り「多磨駅」で下車 (所要5分)。駅から徒歩5分。 ※西武多摩川線は12分間隔。
- ■JR中央線「三鷹駅」から小田急バス鷹52系統に乗り「東京外国語 大学前」で下車(所要30分)。停留所から徒歩2分。 ※小田急バス時刻表:

http://www.odakyubus.co.jp/cgi-bin/search/mapsearch.cgi

- ■京王線「飛田給駅」から京王バス飛02系統・調33系統(いずれも 多磨駅行き)に乗り「東京外国語大学前」で下車(所要7分)。 停留所から徒歩2分。
- ■京王線「調布駅」から京王バス調33系統(多磨駅行き)に乗り 「東京外国語大学前」で下車(所要20分)。停留所から徒歩2分。 ※京王バス時刻表: http://www.bus-navi.com/





※ アジア・アフリカ言語文化研究所は6番の建物です

大阪会場 [ベトナム語]

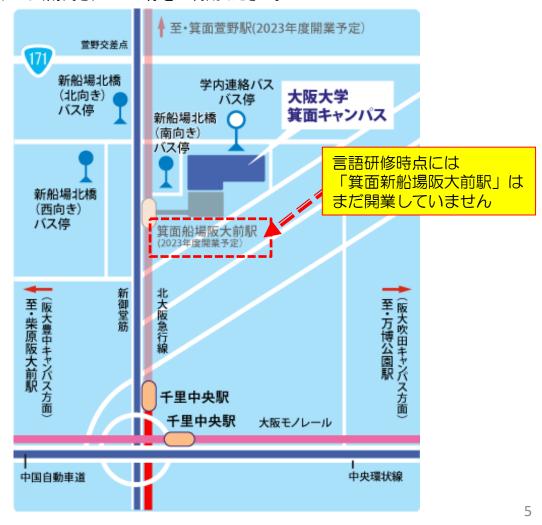
大阪大学 箕面キャンパス (阪急バス「新船場北橋」 徒歩約5分) 〒562-8678 大阪府箕面市船場東3丁目5-10 ※会場になる教室は、決まり次第お知らせします。

モノレール・北大阪急行線:

- 千里中央駅下車 北へ徒歩 約25分
- ※新御堂筋沿いを北へ進んでください。(住宅街は通らないようにご注意ください。)

バス:

- ○阪急バス
- 千里中央発
- ⑦停留所 [81][82][83]系統、[85]系統、[22]系統
- ⑪停留所 [19][20]系統
- 新船場北橋 下車 徒歩約5分
- ※急行便など新船場北橋に停車しない便もありますので、ご注意ください。
- ※系統によって、下車するバス停の位置が異なります((北向き)もしくは(西向き))。
- 千里中央方面へは(南向き)のバス停をご利用ください。



ムンダ語

》 初学者向け

》 東京会場 》 日本語での授業

ムンダ語はインドのジャールカンド州で話されている言語です。ムンダ語はカンボジア語やベトナム語と同様に、オーストロアジア語族に属し、東南アジアの言語と同系関係にあります。しかし、言語の構造は南アジアの言語と類似する点が多くあります。話者人口は100万人を超えますが、インドでは少数言語に数えられます。それはムンダ語が周辺言語であるヒンディー語などのインド・アーリア諸語からの影響を受け、子供がムンダ語を学習しないケースが見られるからです。とくに、教育を受けた人たちの多くが自分たちの子供たちにムンダ語を教えないという場合が増えています。そういう意味では、消滅の危機に瀕した言語の初期段階と言えるかもしれません。

ムンダ語は言語学的に動詞と名詞の区別がない言語として、世界的に有名です。しかし、注意深く観察すると、その区別があることがわかってきました。また、人称代名詞は単数、複数に加えて、双数があり、一人称の双数や複数に聞き手を含む形と含まない形があります。これらは日本語にない現象です。さらに、擬態語や擬音語が豊富な言語であり、担当者によって辞書も作成されております。

ムンダの伝統文化は1960年代に日本の人類学者がムンダ人の村をフィールド調査 したことがあり、日本人はムンダ人の間で知れ渡っています。年々失われつつある儀礼 や創世神話などをムンダ語で記録していますので、そうしたテキストも学ぶ予定です。

研修の対象者について

まだ、日本ではよく知られていない言語に触れてみたいという初学者から、ある程度言語学を修得していて、フィールド調査をやってみたいという大学院生や研究者まで、言語に関心がある方。

また、インドに興味を持っているが、いわゆるヒンドゥー文化とはちがった文化にふれて みたいという初学者から、インドのヒンドゥー教についてのある程度の知識を持っている 学生・大学院まで、インドの様々な文化に興味を持っておられる方。

ムンダ語を学んだことがある人は日本ではほとんどいません。皆さんがパイオニアです。ムンダ語会話からムンダ語の文法まで、またムンダ文化について関心のある方はぜひ言語研修を受けてみてください。





研修内容について

ムンダ語研修では、まずムンダ語の基本会話の習得からはじまって、創世神話や歌謡などの伝統的な口頭伝承を聞いて意味を理解できるようになるまで、集中的に学習することによって、ムンダ文化を実践的に学ぶことを目指します。

テキストについて

担当講師作成のテキストを使用します。

研修期間および研修時間について

2021年8月16日(月) ~ 2021年9月10日(金) 100時間 午前10時00分~午後4時30分 (土曜日、日曜日は休講)

文化講演について

実施予定. 詳細は後日ウェブサイトにてお知らせします。 http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/training/ilc/ilc2021

受講料について

60.000円 (教材費込み)

講師プロフィール

長田 俊樹 (おさだ としき)

総合地球環境学研究所名誉教授、神戸市外国語大学客員教授、 国立国語研究所客員教授

1978年に初めてインドに行ってから40年以上、インドの少数民族に関わって今日まで研究を続けてきました。ムンダ語は名詞と動詞の区別がない言語として、言語類型論では有名な言語ですが、世界的にいっても、研究者がほとんどいません。皆さん、何かをやるときにはナンバー1を目指しますが、誰もやっていない言語をやれば簡単にナンバー1になれます。しかし、一人しかいないことはワースト1でもあるので、それも忘れずに、研究を続けていきたいと思っています。



Purti Madhu(プルティ・マドゥ)

1993年以来、日本在住。2001年東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所の夏期講習「ムンダ語」で講師を務めたほか、京都大学のネイサン・バドノック准教授とムンダ語の擬態語擬音語に関する研究をおこなった。



ベトナム語

》 初学者向け 》 大阪会場 》 日本語での授業

2010年代日本で暮らすベトナム人の数は増加の一途をたどり、2018年には在留外国人(国籍・地域別)の中で3番目に多いのがベトナム人となりました。1975年以降にインドシナ難民として海を渡ってきた人々、留学生・技能実習生として来日した人々等、いろいろな背景を持つベトナム人が現在日本国内で暮らしています。このように、ベトナムは現在日本において日に日に存在感を増している国のひとつと言えるでしょう。

ベトナム語は、ベトナムの総人口の約9割を占めるキン[京]族が話すことばで、オーストロアジア語族モン・クメール語派ベト・ムオン語群に属します。表記はアルファベットで声調などを区別するために補助記号が付されます。語彙に漢語由来の要素が多いのも特徴的です。ベトナム語は大きく北部・中部・南部の3方言に分けられますが、それぞれ音韻的・語彙的特徴が大きく異なります。

本研修では、ベトナム語の発音・基礎文法を学び、さらにそれを運用して会話を展開する実践練習を行います。ベトナムの社会や文化への理解を深めたい方、ベトナム人と交流を深めたい方にとって有益であると考えられます。

研修の対象者について

ベトナム語を初めて学ぶ人を想定した研修を行います。

研修内容について

初級レベルのベトナム語を学びます。前半で日本人講師とベトナム人講師(北部標準語話者)が発音と文法の基礎を担当し、後半で日本人講師とベトナム人講師(南部方言話者)が基礎会話を担当します。自然で実用的な基礎会話能力の修得を目指します。

テキストについて

担当講師作成のテキストを使用します。

研修期間および研修時間について

2021年8月23日(月)~2021年9月17日(金) 100時間 午前10時00分 ~ 午後4時30分(土、日は休講)

文化講演について

実施予定. 詳細は後日ウェブサイトにてお知らせします。 http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/training/ilc/ilc2021

受講料について

60.000円(教材費込み)



講師プロフィール

清水政明(しみず まさあき)

現職:大阪大学大学院言語文化研究科 教授

大阪外国語大学卒業。京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程研究指導認定退学。大阪外国語大学外国語学部准教授、大阪大学世界言語研究センター准教授などを経て2017年4月より現職。専門は文字資料によるベトナム語史。



近藤美佳(こんどう みか)

現職:大阪大学大学院言語文化研究科 助教

大阪外国語大学卒業。京都大学大学院人間·環境学研究科博士後期課程修了。奈良女子大学他非常勤講師などを経て2020年4月より現職。専門は在日ベトナム人子弟への母語・継承語としてのベトナム語教育。



Nguyen Thi Phuong Lan(グェン・ティ・フオン・ラン)

現職: Global EHD 株式会社 取締役

ハノイ大学・ハノイ外国貿易大学卒業。大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程研究指導修了。2006年に来日。2016年 5月より現職。



内田 トラム(うちだ トラム)

ホーチミン市経済大学卒業。1999年に来日。伊丹市適応指導員としてベトナム人児童の支援事業に従事。

